

日本労働年鑑 第53集 1983年版

The Labour Year Book of Japan 1983

第一部 労働者状態

I 労働人口の構成

4 労働者の部門別構成

3 運輸・通信労働者

交通協力会編『交通年鑑 一九八二年版』ならびに運輸省調べによる運輸交通関係従業者数はつぎのごとくである。

▽日本国有鉄道職員数(一九八一年三月末現在)	四一万三五九四人
▽地方鉄道・軌道従業員数(一九七九年三月現在)	一〇万一五〇〇人
▽通運事業関係従業員数(一九八一年三月末現在)	四万六五五四人
▽船員数(一九八〇年一〇月一日現在)	二三万三七七〇人

右は船長、航海士、機関長・士、通信長船医およびそれと同等の待遇をうけているもの、すなわち職員と、職員以外のものすなわち部員との合計であり、予備船員二万九五八五人をふくんでいる。外航部門での乗務員数にたいする予備員数の割合つまり予備員率は七三・〇%と高率を示す。

また、郵政・通信関係従業者数はつぎのとおり。

▽郵政省職員数(一九八〇年一〇月七日現在、郵政省「昭和五五年度郵政統計年報 総括編」一九八二年一月刊による)	三一万〇三四四人
▽日本電信電話公社職員数(一九八一年三月末現在、同公社職員局給与課要員係調べ)	三二万七七一一人

日本労働年鑑 第53集 1983年版

発行 1982年11月30日

編著 法政大学大原社会問題研究所

発行所 労働旬報社

2001年9月4日公開開始

■ ←前のページ 日本労働年鑑 1983年版(第53集)【目次】 次のページ → ■
日本労働年鑑【総合案内】

法政大学大原社会問題研究所(<http://oisr.org>)